

構造派家族療法

2024年夏に「グラフィック家族理解入門」という本を発行する予定で作業を進めている。そこでは「社会システム」、「家族の構造」、「ナラティブ」をキーワードに、私の考えている家族理解、家族療法のことをマンガ「木陰の物語」使って解説文も併せて展開している。

その中で1番多くのページをさいているのが、家族の構造理論の話で、境界、サブシステム、パワーの3つのキーワードを軸に、これまで約50年の相談面接経験を「家族」を大きくくりとして様々に振り返って書き起こした。

常々、援助支援のための具体的な道筋のスタートは家族理解だと強調してきた。そして到達点も結局のところ理解に尽きると考えている。そこには問題解決や回復があると同時に、問題の発生予防や、健全な子育ての心構えも含まれているからだ。加えて、究極はそこだと考えている「夫婦／両親の問題」についても多く書いた。

今回の研修ではそこで書いたことを素材に、構造的家族療法の見方をお伝えし、参加の皆さんにも語り合ってもらおう計画をしている。

講師： 団士郎（仕事場D・A・N 立命館大学客員教授）

日時：【A.ライブ配信+録画視聴】2024年11月24日（日）10:00～16:00（昼食1時間）
【B.録画視聴のみ】2024年12月10日（火）15:00～2025年1月14日（火）15:00

定員：【A.ライブ配信+録画視聴】100名
【B.録画視聴のみ】は人数制限無し

内容：

- (1) 社会システム、家族システム、個体システムの三層で理解する。
- (2) 漫画「木陰の物語」を使って家族の構造理論を考える。
境界・サブシステム・パワー
- (3) 問題解決とは何か、変化とは何か。どこに変化は起きるのか。

申込期間：【A.ライブ配信+録画視聴】2024年9月24日（火）0:00～11月18日（月）23:55
【B.録画視聴のみ】2024年9月24日（火）0:00～12月9日（月）23:55

参加区分と参加費：【A.ライブ配信+録画視聴】と【B.録画視聴のみ】は同一料金です。

- ① 日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000円
- ② 学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000円
- ③ 一般参加者：10,000円

研修ポイント

- * 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2ポイント
- * 臨床心理士；2ポイント（申請予定）
- * 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。受講後アンケートへの回答が必須となります